

中央環境審議会廃棄物リサイクル部会  
産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会  
合同会合資料



## 牛乳パック(紙パック)の リサイクルについて

2004, 12, 2

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

### 全国牛乳パック再利用を考える連絡会概要

#### ■ 発足

1984年、ものの命の大切さを子どもたちに伝えようと山梨県の主婦グループが牛乳パック再利用運動を開始。

1985年、運動に参加した各地の11団体が、牛乳パックを媒体に、多様なジャンルの活動の横のつながりをつくろうと、全国牛乳パックの再利用を考える連絡会を発足

#### ■ 会の目的

牛乳パックの再利用をとおして、使い捨て社会を見直し、自然と人間との共存、人と人との共生社会の実現

#### ■ 活動内容

ゆたかなネットワークを生かし「いのち、くらし、自然」をテーマに広範な活動を展開

## 全国パック連の沿革(1985年～1996年)

1985年	・全国パック連発足 ・全国都道府県省資源・省エネルギー研修会にて牛乳パック再利用運動について報告
1986年	・国際青年の村86に参加した外国の青年らが牛乳パック回収活動視察
1987年	・第1回「牛乳パックの再利用を考える全国大会」開催(大月市)
1988年	・第2回全国大会開催参加規模が一挙に1500人となる(熊本市)
1989年	・ドイツケルン大学の招請で講演、紙漉き実演をドイツ各所で行う ・第3回全国大会(大阪市)国の後援名義使用が許可される ・牛乳パック再利用運動のリーフレットを作成。
1990年	・第1回「手すきはがきコンテスト」 ・第4回全国大会(品川区) (活動へのテレビ、ラジオ、雑誌の取材が相次ぐ)
1991年	・牛乳パックの再利用システム作りを考える懇談会の開催 ・第5回全国大会開催(仙台市)
1992年	・牛乳パック再利用製品利用拡大委員会を発足し消費者1000人に向けた使用実態調査を実施 ・第6回全国大会にて牛乳パック再利用マークを決定(北九州市) (牛乳パックリサイクルピンチ説浮上)
1993年	・再生紙普及キャンペーンを全国展開 ・第7回全国大会 関係4省庁がリサイクル等の国の政策を発表(福井市)
1994年	・第8回全国大会(札幌市) ・ビン問題研究会発足(ビンかパックかの論争に対応) ・牛乳パック問題研究会発足 ・牛乳パックリサイクルシンポジウムを開催 ・手すきハガキ技術向上と流通システムを考える福祉作業所交流会の実施(以降1998年まで毎年開催)
1995年	・第9回全国大会(名古屋) ・再生紙メーカー使用実態調査実施 ・全国パック連10周年記念集会開催 ・容器包装のリサイクル法制化に向け要望書を厚生省、通商産業省に提出
1996年	・飲料用紙容器の地域別回収システム回収ルート実態調査の実施 ・ヨーロッパのリサイクル状況の視察 ・第10回全国大会(横浜市) ・牛乳パックを利用した「全国手すきハガキコンテスト」実施

## (1997年～2003年)

1997年	・牛乳パック回収システム全国事例調査の実施 ・容器包装リサイクル法の運用実態に関する自治体調査 ・国・都道府県の機関等及び国内主要企業の再生紙使用実態調査 ・環境セミナーの開催(東京・大阪・熊本) ・第11回全国大会(松江市) ・トイレトペーパー・ティッシュペーパー消費者使用実態調査及び販売実態調査
1998年	・学校給食用牛乳パック等の回収・再商品化システム構築のための実験プロジェクトの実施(福岡・兵庫) ・飲料用紙容器の回収促進のための懇談会の開催(石川・大阪・熊本・愛媛) ・植樹を通して自然の生態系を理解し森林資源の大切さを学ぶ「どんぐり教室」の開催 ・第12回全国大会(神戸市) ・牛乳パック受け皿製紙メーカー及び回収業者へのヒアリング調査
1999年	・第13回全国大会(大田区) ・学校給食用牛乳パックリサイクル実態調査(首都圏の小学校1000ヶ所を対象) ・牛乳パックリサイクル促進地域会議を全国牛乳容器環境協議会と共催(神奈川・愛知・岩手・北海道・福岡・岡山)
2000年	・経済産業省飲料用紙容器リサイクル推進のための手引の検討委員に加わり作成に協力 ・市民と事業者でつくる飲料用紙パックの効率的回収システム研究会の主催 ・周辺諸国の飲料用紙容器リサイクル実態調査(韓国・フィリピン・タイ)と報告会の開催 ・離島の環境保全を目指して - 島内リサイクルを進めるシンポジウムの開催(奄美大島) ・第14回全国大会(金沢市) ・全国パック連15周年集会の開催
2001年	・日韓紙パックリサイクル情報交流会の開催(ソウル市) ・フィリピンにおける紙パックリサイクル活動支援事業の実施 ・第15回全国大会(盛岡市) ・牛乳パック回収拠点拡大運動の展開(回収ボックスを各地域へ配布) ・離島の障害者の就労を目指した資源リサイクルシステム作りの実施 ・紙パック効率的リサイクル促進検討会の主催
2002年	・学校給食用牛乳パックリサイクル実態調査の実施(全国市教育委員会及び乳業メーカー工場対象) ・第16回全国大会(岐阜県関市) ・牛乳パックリサイクル促進地域会議の開催(岐阜・大阪・埼玉) ・牛乳パックリサイクルに関する授産施設及び福祉作業所調査 ・牛乳パック回収拠点拡大事業(回収ボックス配布キャンペーンの展開) <協賛: 全国牛乳容器環境協議会>
2003年	・牛乳パックリサイクル推進地域会議の開催(熊本・八戸・長野) ・生協における紙パック実態調査 ・牛乳パック回収拠点拡大事業(回収ボックス配布キャンペーンの展開) <協賛: 全国牛乳容器環境協議会> ・第17回全国大会(熊本県水俣市) ・北米ペーパーボード会社工場及び社有林等の視察

## 主な活動紹介

### 牛乳パックの再利用を考える全国大会

年に一度、環境問題やリサイクルにかかわる市民・自治体・事業者約2000名が全国から集い、情報交流を行います。また環境、福祉、教育、地域づくりなどいろいろなテーマの分科会を設け、議論する場を提供しています

大会の実行委員会には、市民グループ、女性団体、いろいろな業種の事業者等、が参画し、大会終了後には新たなネットワークが確立。



### 牛乳パック再利用マークの普及と再生品利用の促進

1992年に回収された牛乳パックを使用した製品につけるマークを制定。これを目印に再生品を使って行くことを目的に、マークの普及と再生品利用を呼びかける「集めて使うリサイクルキャンペーン」を5年間にわたり450箇所で実施。

マークの認知度も上がり、約340の商品アイテムにマークを表示。また、年間に4～50件の広報誌への掲載依頼が寄せられています。



## 広報・啓発活動

- ・会報の発行 年5回
- ・環境イベントなどへの出展
- ・チラシ、ポスターの作成
- ・ホームページでの情報提供(アクセス数6万件)



## 調査活動

- ・飲料用容器の地域別回収システム実態調査
- ・牛乳パック回収システム全国事例収集
- ・自治体の容器包装リサイクル法の運用実態調査
- ・国、地方公共団体、国内主要企業の再生紙使用実態調査
- ・トイレットペーパー・ティッシュペーパー消費者使用実態調査
- ・周辺諸国の飲料用紙パックリサイクル実態調査
- ・学校給食用牛乳パックリサイクル実態調査
- ・牛乳パックリサイクルに関する授産施設及び福祉作業所調査 等

## その他の活動

### ■ 研究会、セミナー、情報交流会の開催

牛乳パックのリサイクル率の向上やシステムの充実を目指すための、関係省庁、自治体、関係事業者、再生紙メーカーを招いての話し合いの場や情報提供の場として開催



### ■ 福祉作業所の仕事づくり支援

牛乳パックの回収や紙漉き事業で仕事づくりを目指す福祉作業所に向けて、技術のノウハウ提供や販路開拓をサポート



### ■ 国際交流

フィリピンでの環境教育支援事業や日韓紙パックリサイクル情報交流会等を開催



# 1万箇所回収拠点拡大運動

- 全国牛乳容器環境協議会と協働して、  
全国に回収ボックスを無料配布

新しい回収拠点を増やすことで、新しい回収協力者を開拓、ひいては新しい人とのつながりを築くことにもなり、各地から好評を得ている。



須坂市の酒店におかれた回収ボックス

各地の学校や、環境イベントにも設置され、啓発用ツールとして活用されている



## 牛乳パック回収ボックス配布状況

2001年～2004年10月末現在 4505個

都道府県	設置数	都道府県	設置数	都道府県	設置数	都道府県	設置数
北海道	175	東京都	365	滋賀県	110	香川県	50
青森県	50	神奈川県	100	京都府	75	愛媛県	35
岩手県	60	新潟県	40	奈良県	95	高知県	5
秋田県	15	富山県	20	大阪府	225	福岡県	80
宮城県	40	石川県	45	和歌山県	5	佐賀県	15
山形県	30	福井県	35	兵庫県	170	長崎県	5
福島県	115	長野県	350	鳥取県	10	大分県	25
群馬県	60	岐阜県	210	岡山県	10	熊本県	190
栃木県	30	山梨県	75	島根県	70	宮崎県	10
茨城県	120	静岡県	160	広島県	205	鹿児島県	215
埼玉県	470	愛知県	125	山口県	5	沖縄県	65
千葉県	50	三重県	15	徳島県	65	他	10